

開館2周年記念
特別展

交差する主従

慶喜×海舟

令和3年 9月17日(金)~12月12日(日)

大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

- 開館時間 午前10時~午後6時
- ※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く
9月13日(月)~16日(木)は展示替えのため休館
- 入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)
- 所在地 東京都大田区南千束2-3-1
- 電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



開館2周年記念特別展
「交差する主従 慶喜×海舟」
2021年9月17日(金)~12月12日(日)

激動の幕末を「共闘」し、江戸無血開城へと導いた徳川慶喜と勝海舟。その後、慶喜は静岡で長い隠棲生活を送り、海舟は明治政府のもと華族に列せられます。こうした歴史的流れの裏で、主従の関係にあった2人の間にはどのような思いが交わされていたのでしょうか。本展では、慶喜と海舟の約30年にわたる関係性を紐解きます。



開館2周年

開館2周年記念講演会【YouTube配信】

NHK 大河ドラマ「青天を衝け」

「同時代を生きた3人
～徳川慶喜・勝海舟・渋沢栄一～」

■出演
戸定歴史館名誉館長 齊藤洋一さん
歴史タレント 堀口茉純さん
■配信期間
令和3年9月7日(火)～30日(木)
■視聴方法
大田区ホームページでご案内します。



徳川慶喜 勝海舟 渋沢栄一
(国立国会図書館「近代日本人の肖像」より)

【勝海舟生誕200年記念】
クラウドファンディング
「家族展を実現させたい！」
プロジェクト

～2023年は海舟生誕200年！～

開館以来、来館者の皆さまから「海舟とその家族に関する展示」を求める多くの声をいただいております。そこで、海舟生誕200年に、幕末・明治における海舟の仕事ぶりや果たした役割を家族の視点から紐解く“家族展”を構想中です。メモリアルイヤーに初の試み“家族展”を実現させたい！皆さま、クラウドファンディングを通じてのご支援よろしくおねがいします。

■クラウドファンディングのご支援で
実現させたいこと

現状では公開できる状態ではない資料を修復等して、実物を見ていただきたい
(一例)
・海舟の親族を描いた油絵や家族写真
・赤坂氷川の子海舟邸の図面

■募集期間(予定)

令和3年10月1日(金)
～12月29日(水)



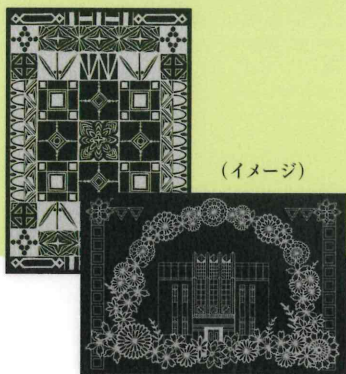
詳細は、区特設ページをご覧ください。

ミュージアムグッズに
スクラッチアートが仲間入り！

大田区内在住の
「ボールペン花文様装飾の工芸作家 小宮里江子さん」
「はんこアーティスト ひびのさなこさん」とのコラボ商品です。

勝海舟記念館の建物である国登録有形文化財「旧清明文庫」をモチーフに2種類1セットでの販売です。

2種1セット
販売開始 9月17日(金)～



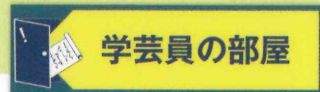
(イメージ)

ホームページリニューアル！

企画展にお越しいただけなかった方にも、おうちで記念館のコンテンツを少しでも楽しんでいただけるよう、学芸員による企画展を振り返ったコラムの掲載を始めました。

「学芸員の部屋」をぜひ覗いてみてください。

公式SNSでも情報を発信しています。



▶学芸コラム

現在開催中の企画展「所用品から見る海舟の姿」から、展示資料の一部をご紹介します！明治以降、海舟は隅田川流域にある向島の陶工(鳥井京山や三浦常山など)のもとへ、何度も通っていました。陶工が作った器に染付をしたり和歌を刻んだり、または自身でろくろをひいて器を作っていたようです。展示中の器4点は、正面や横から見ると歪んでいるものもありますが、手にすると持ちやすく、どこか暖かさを感じます。(9月12日まで開催)
学芸員:稲垣



「茶碗「萬壽」他 海舟が作った器4点」

＼限定グッズを販売中！／

展示中の海舟が着用していた袴をモチーフにした携帯用アルコールスプレーを限定200個で販売しています！

¥500-(税込)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



ホームページ



公式ツイッター

発行:大田区立勝海舟記念館
令和3年8月発行